

NEXT 長崎人材育成事業(商業部会)意見交換会 報告

1. 日時:令和6年12月5日(木) 14:00-17:00 場所:佐世保商業高校 会議

2. 出席者:29名

- ・産業界 10名:佐世保商工会議所、株式会社博多屋、佐世保市、
佐世保観光コンベンション協会、十八親和銀行、JTB 長崎支店、
日本観光振興協会、日本大学
- ・学校 10名:佐世保商業高校
- ・知事部局 5名:文化観光国際部観光振興課
産業労働部経営支援課
県北振興局商工観光課
- ・本庁 4名:教育庁高校教育課

3. 総括:

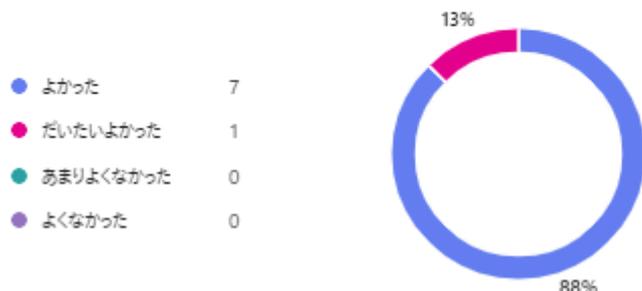
グループ	主な意見	今後の対応
【A班】	<ul style="list-style-type: none"> ・目的やどこまで学ばせるかを明確にしたい。 ・「観光で学ぶ」とすると裾野が広いので、データサイエンス、デジタルマーケティングなど3つぐらいの柱を立てて、観光教育を組み立てるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光教育を展開するには「キャリア教育」と「教科指導」の両方を工夫する必要がある。 ・商業科の良さを生かすには「観光を学ぶ」より「観光で(商業を)学ぶ」との認識が良い。 ・次回は関係者会議を開いて、「観光ビジネス」のカリキュラムデザインを検討する。
【B班】	<ul style="list-style-type: none"> ・価値創造、企業変革ができる人材が必要。 ・高校時代に成功体験があるとUターン率も上がるので、そのような体験が提供できると良い。 ・観光プランを考えさせる取組はいい。「簿記」「マーケティング」「情報処理」の知識を使うことが大事。 	
【C班】	<ul style="list-style-type: none"> ・観光スキル以上に郷土愛のある人材が必要。 ・観光を学問というより面白い取組という軽いところから入ったほうがよいのではないか。 	
【D班】	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ビジネスを学習することで、いずれ長崎県を支える人材を育成できるのでは。 ・プレゼンする機会があると良い。 	

4. アンケート結果(概要):回答者 17名(企業・知事部局8名、学校9名)

学校見学・授業見学について

企業・知事部局 【3.9 / 4.0】

4. 学校見学・授業参観はいかがでしたか。



(アンケートの回答)

<企業および知事部局> 学校見学・授業見学の感想

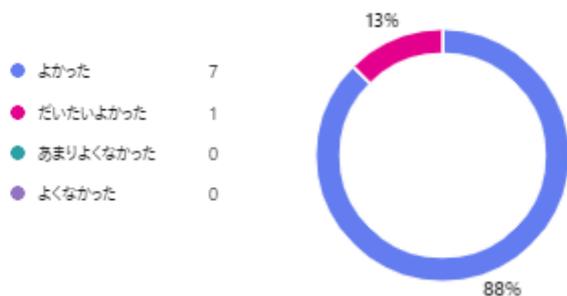
- ・観光へのアレルギーがもたれない様なワークを実施して、工夫されていると実感いたしました。
- ・観光ビジネスという新しい科目を教えることの難しさ、面白さ、両方を感じました。
- ・自由で柔軟な発想を、実践に繋がれば、Win-Winの仕組みづくりができると思います。

意見交換会について

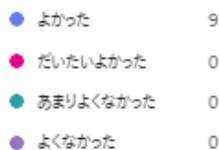
企業・知事部局 【3.9 / 4.0】

学校 【4.0 / 4.0】

6. 意見交換会はいかがでしたか。



2. 意見交換会はいかがでしたか。



(アンケートの回答)

意見交換会の感想

<学校>

- ・データを活用し分析することで、旅行プランひとつにしてもよりリアルに近づけるとのご指摘、現地に赴いての活動が必要、観光ビジネスの授業だけでなく他の科目との連携が必要など、今後に活かしていきたいと思いました。
- ・産業界の協力を得ることができる感触を持ってました。ぜひ、次年度の授業(観光ビジネス)では、産業界との連携で、生徒の資質能力をさらに伸ばしていきたいと思います。

<企業および知事部局>

- ・他の業種の方との意見交換を通じて、新しい目線を持つことが出来て新鮮でした。
- ・それぞれの立場での思いがある中で、全てを授業に落とし込むのは難しいので、生徒ファーストで生徒の興味関心のある分野中心の授業方法でもいいのかと感じた

(アンケートの回答)

情報教育・情報人材の育成における課題

<学校>

- ・観光人材とは具体的にどのような人材なのかははっきりしない点。どこを目指すのか。例えば高校で観光ビジネスを選択したとしても将来観光に携わるとは限らない。
- ・教育現場では、担当教員次第になっているところが多く、全体の取り組みとして、外部との連携が必要だと感じます。我々の意識をまずは変えていかなくてはならないと思いました。

<企業および知事部局>

- ・旅行プランの作成、その他の観光の授業についても、広い視野でみる事で、簿記やマーケティング等様々な知識を身に付けるとともに、実践することが可能だと思います。
- ・観光人材とは、お金についてわかる人材。正にその通りでは無いかと感じました。
- ・生徒と業界の方が直に交流するような場面があると生徒にとって収穫が多そうだと思います。
- ・観光の範囲が広く、テーマを絞り込まないと課題が集約されにくい。
- ・観光業は労働集約型産業であり「人(人財、人材、人在、人罪)」が非常に重要であるが、社会に出てしまうと育成にかかる時間がなかなか取りづらくなってしまいがちだと思われる。

今後、産業界と教育現場、県の関係部局等の連携において、取り組んでみたいこと。

<学校>

- ・観光教育を何らかのかたち(アイデア発表大会やアイデア実施)で実現できれば、生徒達によい効果をもたらすのではないかと思います。

<企業および知事部局>

- ・学校が求めるものに沿う形で積極的に協力したい。定期的な意見交換の場を作らせていただければ幸いです。
- ・県内就職や U ターン就職を推進するのであれば、何を教えるか以外でも意見交換が必要だと思います。

その他、本事業への要望・ご意見等

<学校>

- ・年に2回以上、定期的に開催していただき、観光人材の育成を試行錯誤していかたいと思います。
- ・商業科の一部の先生だけが危機感を持っているような状況なので、もっとアナウンスしてもらい、最初が無理やりでも多くの先生に参加してほしいです。

<企業および知事部局>

- ・是非、生徒の未来、地域の未来を明るくできるように、我々も協力を惜しみませんので、これからも交流してまいりましょう。
- ・素晴らしい授業を見させていただきありがとうございました。今後も連携して事業実施をお願いいたします。

6. 実施の様子

